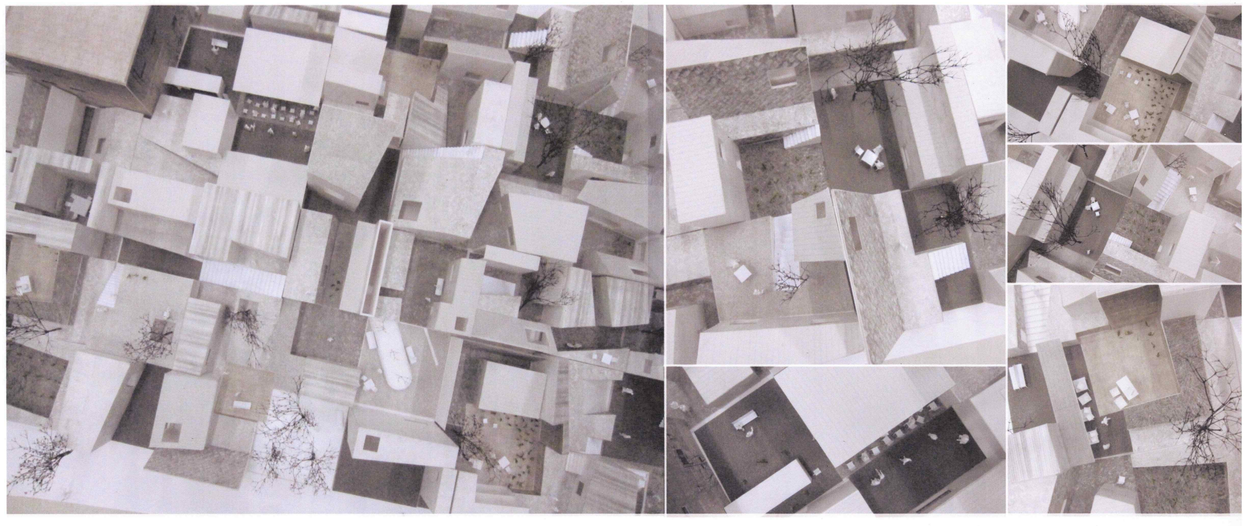


Re:edt... Characteristic Puzzle

Re:edit... Characteristic Puzzle

住宅地の再構成による集合住宅の提案。
1.0mの四方のピースで空間を切り取り・集めることでできる新しい住宅地の風景を提案する。

昔時何気なく暮らしているまちで、休憩している空間は幾々に変化しながら移動している。

昭、高度成長期で古い電柱に縛られて自動車、アスファルトに覆って切り取れる。お気に入りの場所で食事を摂り、
時には商店街で買い物をして、対照的な生活様式を通って家に帰る。
そんな空間の体験を1本の縦で考えると都市は線的日のようになる。

そんな都市と住戸の空間の連続性を考える。

それぞれに特徴を持ちながらも、どこか均質した空間の連続が、特徴のない風景を感じさせるならば、
空間の断片を切り取り、集めることで、そのまちを大きく違った見方ができるように、
新しい風景を作り出せるのではないかと考えた。

新たなルールを持ち込みながらも、風景や活動はまちになじんでいく、そんな建築を目指した。

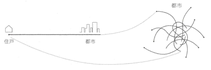
まちにある実際の空間を1.0m×1.0mのピースで切り取り、組合わせる。

思いがけない空間が織り合ったり、建築の手前とも、表と裏が容易に反転する。
予期せぬ空間が連続し、まちの風景をつくっていく。

あなたのまちではどんなピースを切り取りますか？

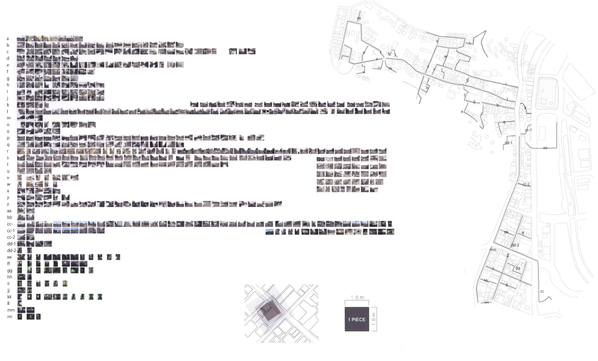
そこにはまた違った風景ができるはず。

THEME

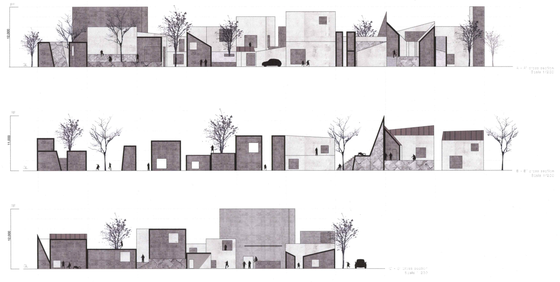


CONCEPT

METHOD



風景の変化を1.0m厚さに縛り変わる状態と捉え、1辺1.0mの正方形を単位としてせり取るピースの大きさを規定することとした。



Cross Section (scale=1/300)

実際に歩いて特徴的と感じた空間をそのまませり取り、それらを組み替えながら空間を再構成した。

54 SPOT

54 PIECE

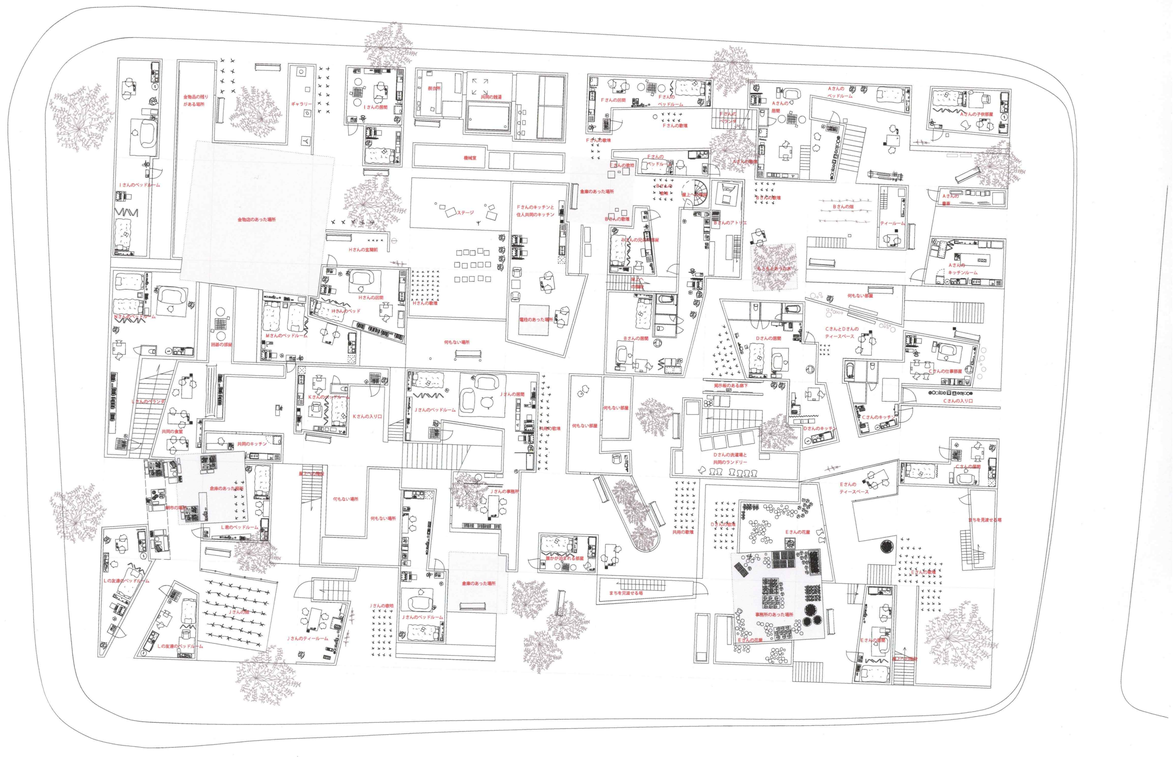
この建築は周囲に影響されながら増殖していく。

増殖する際に離隔するピースによって空間の特性が変わってくる。

住宅棟の小道が…　　連結したさに伴い小道が結節点に　　広場の一部に　　隣のものとつながったり　　かりんとしたテラメイド　　隙が広がってくるかもしれない　　中央に植栽を設置して使うかも

既存建物に離隔する形で、あるいは既存を増殖するように、ピースが増殖していく。
隣り合うピースによって既存建物への影響は変わり、
また既存が取り壊されれば、また空間が変化する。

時計の表側が壊っていたところ　　表裏が壊っていたところ　　大きな白の表裏が合ったところ　　表裏が壊っていたところ　　現在建物が今壊っているところ　取り壊されて空間が変化する



Ground Floor Plan (scale=1/300)